



岡山県原水協通信

2011年12月9日 No193
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

核廃絶へ 手をたずさえて 県被爆者会と懇談 年末募金贈呈



県原水協は12月9日、県庁で岡山県被爆者会へ連帯募金を贈呈し、懇談しました。

県被爆者会への年末募金贈呈は2007年以来続けているもので、この日は中尾代表理事、平井事務局長、豊田、村上、石原事務局次長が出席。被爆者会から妹尾会長、平末副会長が出席されました。中尾代表から「わすかですがお役に立ててください」と妹尾会長に贈呈。妹尾会長は「毎年ありがとうございます。県下の被爆者（手帳保持者）は1900人、平均年齢78歳、昨年も100名が亡くなりました。高齢化と会員減少で困難な状況だが、戦争の恐ろしさ、平和の尊さを後世に話し続けたい」と挨拶されました。

その後、出席者がそれぞれ核兵器廃絶の思いを発言し、核兵器廃絶へ手を携えて奮闘することを誓いました。（写真＝贈呈式後参加者全員で12/9 県庁）

「赤紙」を配り 反戦平和を訴え

太平洋戦争開戦70年目の 12・8行動

日本軍がハワイ真珠湾でアメリカ軍に奇襲攻撃をくわえ、連合軍相手に本格的に戦争を開始して70年目に当たる12月8日、「12・8平和を守る母親行動」が行われました。

この行動は県母親連絡会、革新懇、ジャーナリスト会議、平和委員会がよびかけ人となって毎年12月8日、「赤紙」を配り、平和を訴えているものです。

12時から岡山市内アリスの広場前でおこなわれた行動にはよびかけにちよえ19団体36人が参加しました。

（右・12・8行動に参加した皆さん、下・署名に応じる市民）



母親連絡会の女性たちはそろいのサンタの帽子をかぶり、風船と「赤紙」チラシを配布。あわせて「原発から撤退し、自然エネルギーへ転換を」「核兵器の全面禁止のアピール」署名を取り組みました。

革新懇、平和委員会、ジャーナリスト会議、原水協、民商、岡山市職労女性部などの12人がそれぞれ平和の思いをリリーストーク、「二度と再び戦争によって加害者、被害者にならないよう、憲法9条が活かされる平和な日本を作しましょう」と訴えました。

昼休みの1時間の行動でしたが自然エネルギーへ転換を求める署名47筆、核兵器全面禁止署名37筆が寄せられました。